

(3) 学校保健

① 学校環境衛生

報告者
保健室 大西とも子

学校薬剤師が行う学校環境衛生検査

検査名	検査項目	実施回数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	検査結果
教室と シックハウス 関連	1 温度及び照明	2回													基準に 適合
	2 騒音														
	3 教室等の空気														
	4 椅子														
	5 黒板														
	6 飲料水														
飲料水と 雨水と 清潔関連	7 雨水	1回		○											基準に 適合
	8 水飲み・足洗い場														
	9 排水														
	10 便所														
プールと 清潔関連	11 学校の清潔	2回						○							基準に 適合
	12 プール														
	(9) (排水)														
給食室と 清潔関連	(10) (便所)	1回													基準に 適合
	13 給食室														
	13 給食室の飲料水														
	14 じみ														
	15 はずみ														
	(9) (排水)														
	(10) (便所)														
	11 学校の清潔														

☆・・・ホルムアルデヒド、トルエンの検査

結果と課題

- ・検査結果は基準に適合し、学校環境衛生は概ね良好。
- ・昨年に引き続き、プール施設の環境保全を目的として、プールの清掃、検査を実施。

今後も環境整備の継続が必要。

② 健康診断結果・ 保健室利用状況

⑦ 健康診断結果

内科健診・心電図検査・眼科健診・結核健診

例年同様、概ね異常なし、または治療済・治療の必要なし

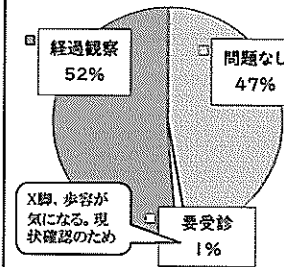
尿検査：

一次検査での潜血の検出者数が多かったが、
二次検査で異常なし、または治療の必要なし

耳鼻科健診：

- ・アレルギー性鼻炎、急性鼻炎は例年より多い。
- ・耳垢栓塞は、昨年同様で全体的に多い。
- ・受診・治療が困難なケースには、今後も個別に相談を継続

運動器検診結果(1年生)

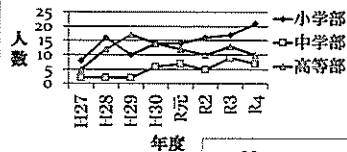


経過観察の中には、既に通院中、診断済みの者も含まれる。

検査項目のうち、「片足立ち」の項目が最も多く、概ね検査項目の動きができないことによるものであった。

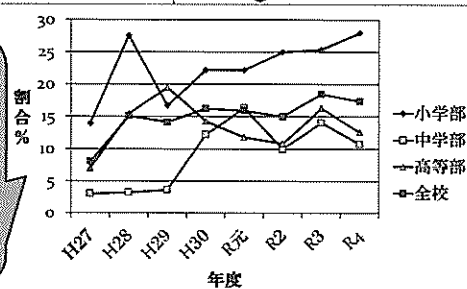
運動面の成長がまだ発達の段階であると考えられるため、今後も引き続き、体育部等と連携し、体づくりに努めたい。

歯科健診 むし菌のある者



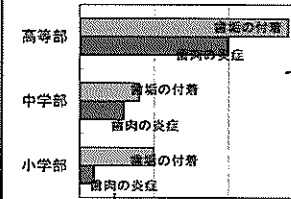
学校保健統計調査(R3年度) むし菌(未処置歯)の所有率は、約11.6~21.6%(全国) 所有率は、小学部が最も高く、増加、中・高部では減少した。

全校の所有率
昨年度 18.5%
今年度 17.4%
小学部は全国平均より高い



歯科健診 歯肉の炎症・歯垢

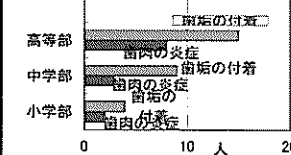
R4年度



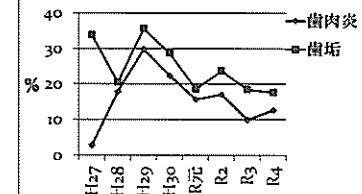
小・中学部に比べて、高等部は多い。

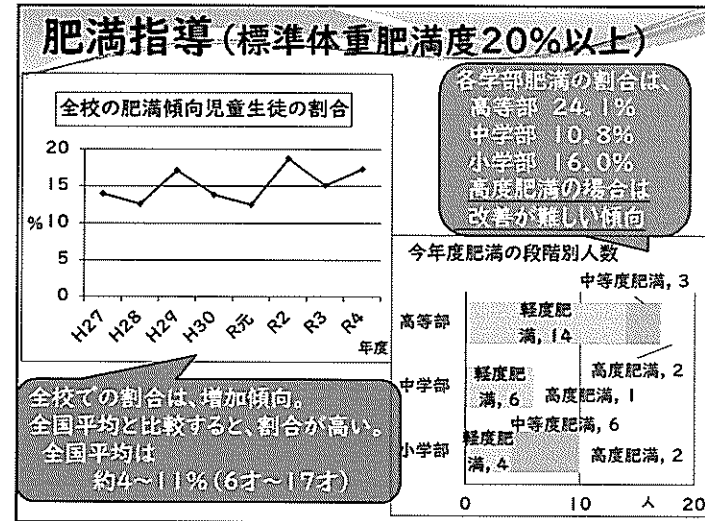
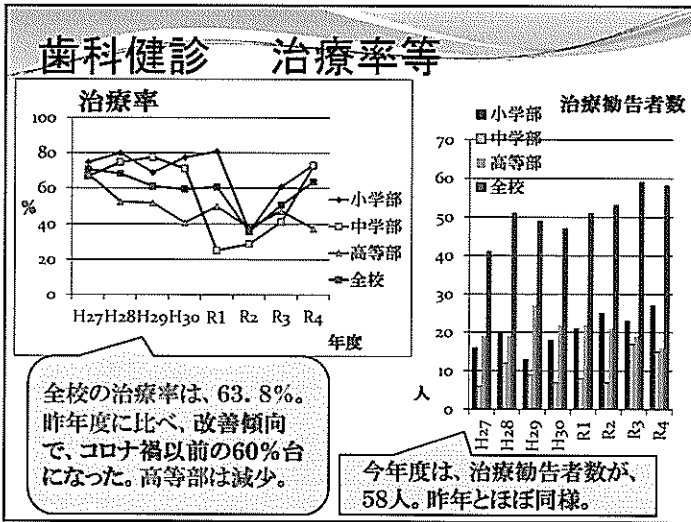
高等部では、昨年度に比べ、歯垢の付着は同様、歯肉炎は増加した。

R3年度



高等部 割合の推移

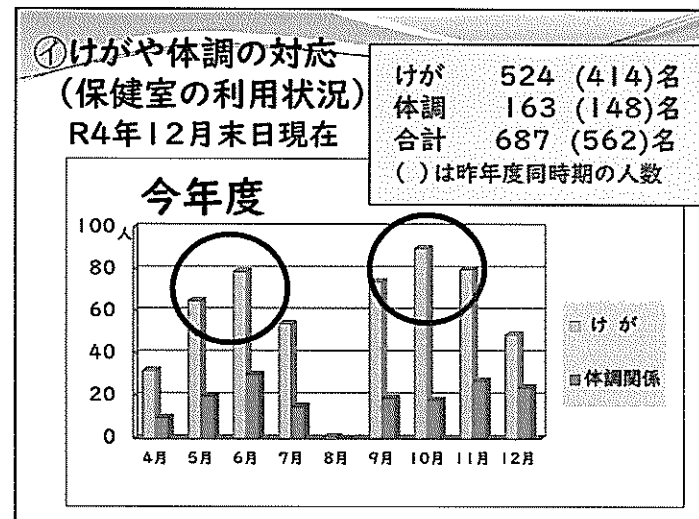


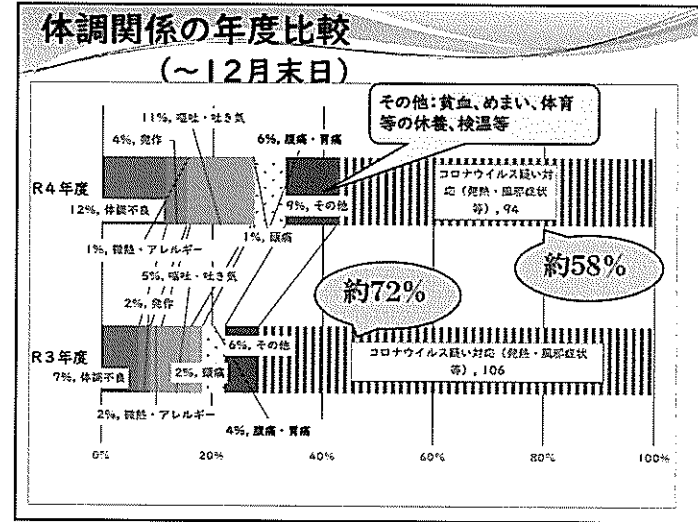
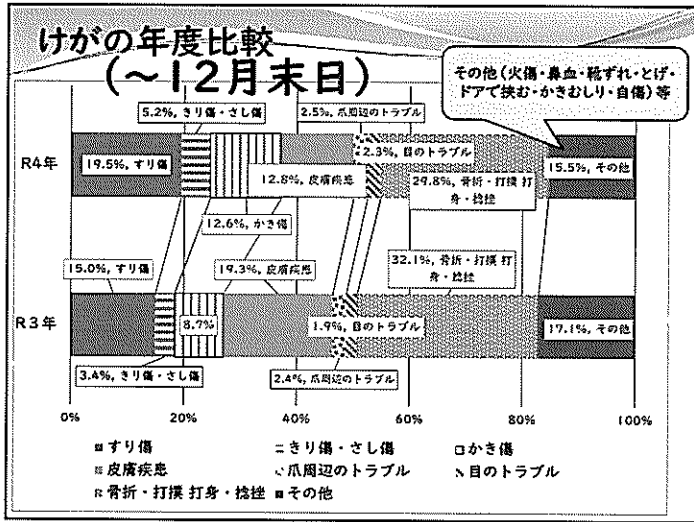


本校の肥満指導について

- ◇肥満度のお知らせ (4月・9月・1月測定値)
- ◇体脂肪測定 (希望者)
- ◇各個人の課題と目標
- ◇各個人の指導内容の確認

保健室・食育保健部・学級が協力





㊦ R4年度救急医療受診状況

R4年12月末日現在

- 救急医療受診件数 14件(昨年度8件)
- スポーツ振興センター災害給付件数 10件(昨年度7件)

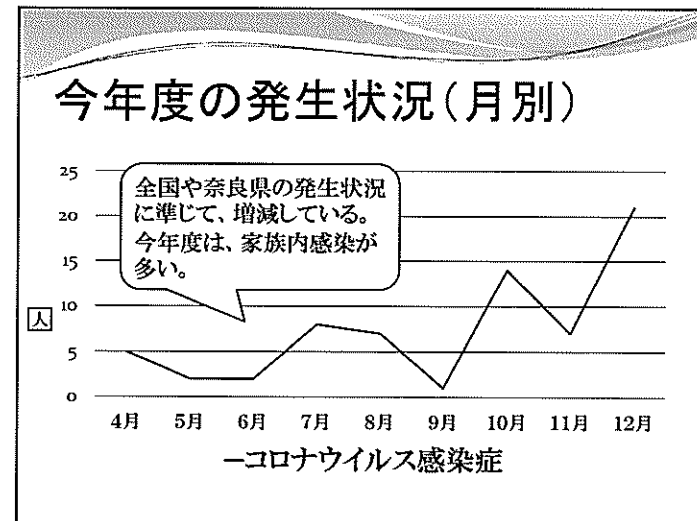
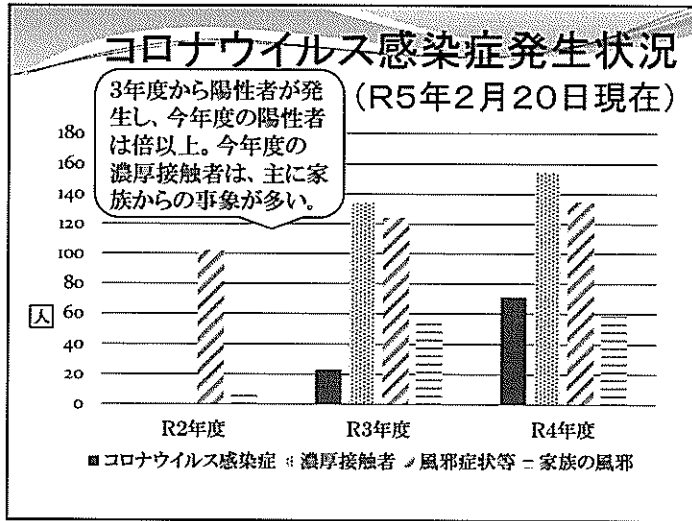
○昨年度に比べて増加傾向。H29年以前と比べれば、減少している。

内容としては、切傷、骨折、異食、捻挫等。

➡ 引き続き、各ケースを検討し再発防止に努める。

③感染症への対応

ア コロナウイルス感染症



本校での対応

- 文部科学省、奈良県教育委員会の方針に沿って、概ね毎月校内学校保健委員会を行い、学校医・学校薬剤師の指導助言のもと、本校のマニュアル、感染状況を考慮し、対応を進めてきた。

<基本的な対応>

- 基本的な感染症対策(発熱・風邪症状が見られる場合の自宅療養、手洗いや咳エチケットの徹底、消毒等)
- 集団感染のリスクへの対応
3密を避け、リスクが発生しない配慮(授業の工夫)、換気
- 高リスク施設としての慎重な対応

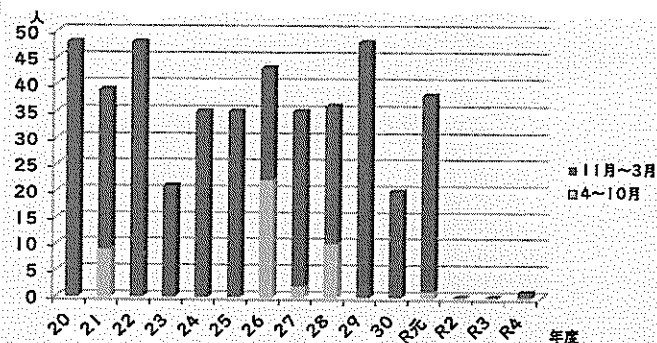
今後とも、クラスター発生を防ぎ、子ども達の心身ともに健康な成長を促す指導を更に考慮を重ねて、進めていきたい。

感染症への対応

① インフルエンザの発生状況等

本校のインフルエンザの発生状況

(R5年1月20日現在)



本校での対応

例年20名から50名程度の発生があったが、
コロナウイルス感染症の発生に伴い、R2～3年
は流行もなく、本校の発生は0名だった。

今年度は、既に全国的に流行期に入っている。
12月中旬 本校の基準(学年閉鎖等)通知

今シーズン校内初発(1月冬期休業中)
児童生徒の発生は1月20日現在、1名

その他の感染症(～1月20日)

- 感染性胃腸炎(家庭内感染) 7件
- 手足口病 1件

- 校内での感染拡大は見られない

④アレルギー疾患への対応

職員研修

アレルギー疾患を有する児童生徒は微増

•今年度

食物アレルギーの除去食対応者 19名

•エピペン処方者 1名

•「食物アレルギー」オンライン研修

•アナフィラキシー事故対応研修(小学部)

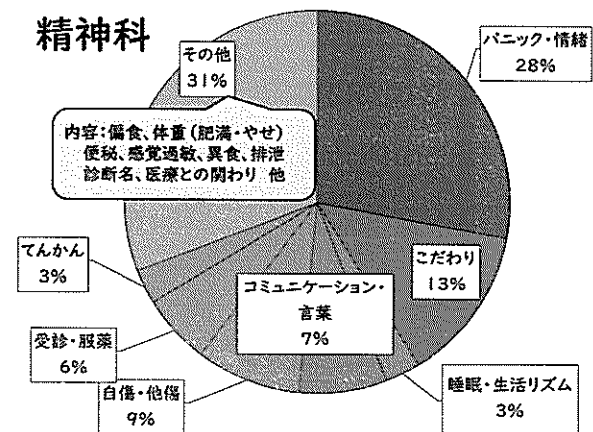
⑤健康相談(校医)

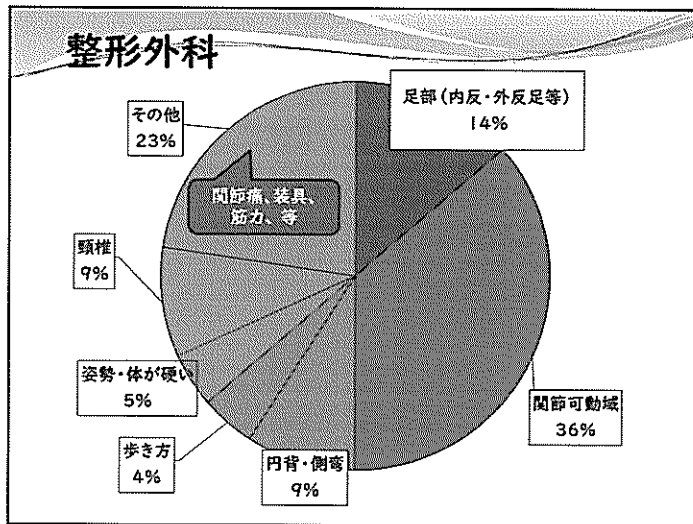
今年度の実施件数(～R5年1月末)

精神科	整形外科	小児科
・校医2名 年間20日 予定 ・実施件数 (32)件	・校医1名 年間7日 予定 ・実施件数 (12)件	・校医1名 年間3日 ・実施件数 (7)件

相談内容

精神科





小児科

- ・「成長曲線」を用いた健診
- ・服薬に関する助言
- ・自傷、他害、こだわり、やせ等への対応

学校への助言